

▼別ショットの写真



今月の表紙は、デンソーエアリービーズによるバレーボール教室です。町内の中学校バレー部員を対象に幸田中学校の体育館で開催されました。あこがれの選手から直接指導を受け感動する姿がみられました。

## 今月の表紙

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線334)  
FAX63-5139

### こうたれいじゅかい 幸田禮樹会



こんにちは、幸田禮樹会です。私たちの日舞は、前身の翠禮会から続きまして幸田文化協会に20年余りお世話になっています。練習は芦谷コミュニティセンターで毎週木曜日に行っています。日舞をご教授いただいている先生のご指導はとてわかりやすいので、何歳からでもはじめられます。現在、70歳以上の男性2人が先生宅で個人レッスン中です。みなさんの入会をお待ちしています。日舞の良いところは、姿勢が良くなり美しくなること、笑顔になり認知症の予防にも役立っています(笑)

また、毎年10月に幸田町民会館で発表会も行っています。今年も10月13日に、さくらホールで行いますので、ぜひ足をお運びください。先日、9月28日には高浜市で開催された県文連西三河芸能大会にも禮樹会から10人が参加し、発表を行いました。みんなで楽しみながら、頑張って活動しています。これからも元気に活動を続けていきたいと思っていますので、応援よろしくお願ひ致します。

代表：田畑 涼子 ☎62-3605

### サークル紹介

この指とーまれ 144

## みんなの作品展!

第37回 幸田学童書道展からのセレクトです。



伊藤 早里菜 さん



田中 里奈 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入の上、広報広聴Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

10月10日は「缶詰の日」

## 今月の記念日

日本で缶詰製造が始まったのは明治時代。明治政府は産業振興のため西洋文明を積極的に導入しましたが、この中に缶詰の製造もありました。北海道開拓使は道内の産業として缶詰をとり上げ、事業化することにした。一八七七年(明治10年)、札幌市の北、石狩町に、我が国初の缶詰工場「石狩缶詰所」を設置しました。米国人を指導者とし、缶詰機械を組み立てて据え付け、容器の缶を作り、石狩川で獲れたサケを原料に、缶詰の製造を開始しました。この日が同年の10月10日でした。その後、缶詰は工業的に生産されるようになり、昭和初期には、サケ、カニ、マグロ、イワシ、ミカンなどが缶詰となって海外へ輸出されていきました。安全性、栄養、経済性、保存性、利便性など、あらゆる面からみて理想的な加工食品といえる缶詰・びん詰。近年生産量を伸ばしているレトルト食品と併せ、非常時にも役立つ食品として注目されています。日本缶詰びん詰レトルト食品協会がプログラム上で開催している、レシピコンテストでは、アイデアレシピが多数紹介されています。

\* 参考資料：公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会 (<http://www.jca-can.or.jp/>)



青春  
トークリレー

△△第259走者△△

はまはら ひろむ  
浜原 大夢 さん

大草区在住 24歳  
職業 会社員 血液型 A型  
身長 169cm  
好きなタイプ 尊敬できる人  
好きな芸能人 藤原竜也

私は昨年、大学を卒業して自動車関連の企業で海外人事の仕事をしています。主に北米拠点を担当しており、将来は世界で活躍できる人になりたいです。

中学生から卓球を始め、現在は会社や幸田町のチームで練習をしています。忙しい会社生活の中で卓球が良い息抜きとなり、日々充実した生活を送っています。

他県に下宿していた大学時代の4年間で町の外見は随分変わりましたが、伝統行事や旧友など変わっていないものと出会うとこの町の出身で良かったと思えます。これから幸田町がもっと良い町になるよう自分にできることを考えていきたいと思っています。



掲載写真を印刷してプレゼント。  
希望者は企画政策課まで。



環境だより VOL.28

幸田の自然・ヒメタイコウチ

湿地を代表する昆虫です。以前はよく見かけましたが、自然環境の変化に伴い湿地が減少したため、生息が危惧されています。昭和43年に愛知県は西尾市のヒメタイコウチを天然記念物に指定しています。（※愛知県：準絶滅危惧種 国：リスト外）

ヒメタイコウチは、タイコウチやミズカマキリと違い呼吸管が短く泳ぎも下手なため水中では生活出来ません。飛ぶ事も出来ず極めて移動性の低い昆虫です。

そのため本種の保護は、現在住んでいる場所の環境をいかに良好に維持するかが大切になってきます。何かの理由で繁殖地が無くならないよう、今後も保全を続けていきたいと考えています。



▲ヒメタイコウチ

先日、保育園に取材に行った時のことです。園児が「ここにゾウがいるよ」と話しかけてきました。目の前には園庭の砂が広がって何も見えない私は「へ？」となったしまいました。たが、その子は、砂にすらすらと家の絵を書き「ほらね！」と想像力と発想力に驚かされました。もちろん記念の1枚を撮影してきました。

さて、すっかり朝晩が涼しくなってきましたが、日中は暑くなったりで気温の変化が大きいく体調管理が難しい今日この頃です。広報の取材や編集業務も体力勝負なので、スポーツの秋ランニングで体力増強に務めます。

ランニングといえば、今年も愛知駅伝の選手選考会が9月20日に幸田中央公園で行われ、来月の広報で代表選手をご紹介します。さて、スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋とありますが、みなさんはどんな秋を楽しみますか？今月の広報には、秋を楽しむための情報が盛り沢山となっています。10月26日に幸田中央公園で開催される第59回町民大運動会。運動会には老若男女が集まり、真剣勝負の中にも爽やかな笑顔があふれる楽しいイベントです。当日参加の種目も参加ください。

